

しろやま



【学校教育目標】 学校HP QRコード→
ふるさとを愛し、21世紀をたくましく生きぬく子どもの育成

御船小学校 学校便り

令和6年7月16日（火）
文責：校長 濱本竜一郎

【熊日新聞「たから箱」～御船小「国語化計画」実行中～】

昨日から熊本日日新聞の一面に「たから箱」という、御船小の子供が書いた4行詩が掲載されています。
たった4行の詩に込められた子供たちの日常。
「名文暗記」や「授業冒頭の速音読」等をとおして獲得した語彙の質と量、そして、日本語に対するリス△感が、たった4行の詩に生かされています。
御船小の子供たちの素直な感性が出ています。
昨日の朝刊を含め、20作品が掲載されます。どうぞ、楽しみにしてください。

無言掃除
御船小学校六年 洲上 慶太
無言掃除中 聞こえる音
静かだからこそ聞こえる音
しゃべっていたら聞こえない音
無言掃除ができている証拠だ
(七月十五日掲載)

初の試み！オンラインで交流（6年生・英語科）

御船町は「英語教育日本一」を目指しています。

そのため、御船町内全ての小学校は、文部科学省から教育課程特例校（英語教育）の指定を受け、国が定める教育課程とは別の教育課程で進めています。

例えば、小学校の1年生で34時間・2年生で35時間、英語活動を行っています。（通常はありません）3年生以上も、通常より多くの時間、英語活動・英語科の授業を行っています。

今日は、6年生のそれぞれの英語科の授業で、オンラインを使って、小坂小学校の6年生と英語を使った交流学习を行いました。

これまで習った英語を駆使して、自己紹介をし合ったり、だんだん打ち解けてくると、英語でじゃんけんしたりと、英語を使う意義のある有意義な時間でした。

初の試みで、タブレット操作に時間を要したり、イヤホンが不調だったり、改善すべきことはありましたが、大いに価値のある一歩を踏み出せました。



